

# ボランティア活動・地域活動の **はじめる** を応援します

ボランティア活動の始めの一歩



- 疑問に思っていることや不安なことがあれば
- ボランティア活動の始めの一歩を応援します
- ボランティアグループに参加したい

こんな疑問に  
答える一冊が  
あります!



特技や資格はないけれど、  
私にもできる活動はありますか?



定年退職を迎えました。週4日くらい、パートの仕事を始めることにしましたが、これまで毎日仕事をしてきたので、平日の休みが落ち着きません。外に出る機会も兼ねて、何カ人の役に立つことをしてみたいと思っています。特別な資格は持っていないし、ボランティアグループに入るのも、なんだか気後れしています。



普通自動車の運転免許をお持ちですか?

はい。車の運転は苦になりませんし、家族や友人に頼まれば、気軽に運転手役になりますが、運転免許もボランティアに役立つ資格になるのですか?



はい。通常の交通機関では通院などの外出が困難な高齢者や障がいのある人を、専用の福祉車両で送迎する「送迎ボランティア活動」があります。栄区社協や区内のNPO団体が送迎サービスを実施しており、空いている時間を利用して、無理なく活動できます。

家庭の主婦です。子どもも大きくなり、子育てがひと段落しました。何かを始めたいと思っっているのですが、特技といえるようなことは無いんです。



ご近所の高齢者にお弁当を作って届ける配食グループの活動はどうですか?

実は・・・料理は苦手なんです。

大丈夫!

徒歩や自転車で配って届ける配達活動もあります。利用者は一人暮らしの高齢者が多く、お弁当を手渡しするときのちょっとした会話をとても楽しみにしています。主婦として家族の気持ちを支えてきたあなたの力を、ぜひ活かしてください。

ボランティア活動は、あなたの普段の生活の延長にあります。「空いている曜日で活動したい。」「家の近くで活動したい。」など、希望やイメージをふくらませて、ボランティアコーディネーターと一緒に活動を探してみませんか?

栄区社協のボランティアセンターで、必要とされているあなたの力をきっと発見できます。

## ボランティア活動を始める前に... リスクに対する心構えと準備

依頼者の役に立ちたいという気持ちから、いろいろと引き受けて無理をしてしまうことがあります。そうした活動は長続きしないだけでなく、トラブルにつながることもあります。できること、できないことをきちんと伝え、時には断る勇気も大切です。

また、活動中や行き帰りの事故に備えて、ボランティア活動保険\*の加入をお勧めしています。リスクへの心がまえ、備えを忘れずに。また、困ったこと、分からないことは一人で抱え込まず、ボランティアセンターにご相談ください。

\*: ボランティアセンターの窓口では「全国社会福祉協議会ボランティア活動保険」の加入を受け付けています。

ボランティア活動のご相談はこちら

**横浜市栄区社会福祉協議会  
ボランティアセンター**  
TEL 045-894-8521  
FAX 045-892-8974  
受付: 毎日(年末年始除く) 9:00~17:00

お近くの地域ケアプラザでもボランティアに関する相談を受け付けています

笠間地域ケアプラザ	890-0800
桂台地域ケアプラザ	897-1111
小菅ヶ谷地域ケアプラザ	896-0471
豊田地域ケアプラザ	864-5144
中野地域ケアプラザ	896-0711
野七里地域ケアプラザ	890-5331

第72号

保存版

平成22年2月1日発行



栄区社会福祉保健ボランティア情報紙

ちから

## あなたの力が住みやすい街づくりにつながります

**栄区社協ボランティアセンターはあなたの活動を応援します**



栄区福祉保健活動拠点  
マスコットキャラクター そらちゃん

ボランティアしたい人と、ボランティアを頼みたい人をつなぎます。

例えば・・・

- ・高齢なので庭の手入れが出来ない。
- ・障がいのある子どもと一緒に遊んでほしい。
- ・病院まで車で送迎してほしい。
- ・施設のイベントを手伝ってほしい。

といった依頼に対し、ボランティアをお探しします。

ボランティア活動に関する相談を受け付けます。

例えば・・・

- ・ボランティアしたいけど、どんな活動がありますか?
- ・ボランティア保険に加入する方法は?

ボランティア活動に関する講座を開催しています。

- ・手話入門講座 ・音声訳入門講座
- ・中学生対象サマーボランティア講座 など

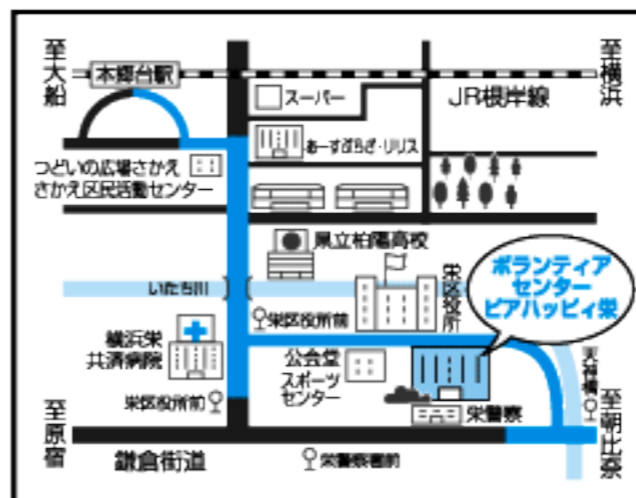
ボランティア情報紙「そら」の発行

年6回発行

- ・ボランティア活動をしたい人・依頼したい人への情報提供
- ・ボランティア募集やイベント情報など、地域交流のための情報提供

栄区社協のホームページにも、ボランティアに関する情報や、区内のボランティア団体の情報などが掲載されています。

<http://www.sakaeku-shakyo.jp>



ピアハッピー栄をご存じですか?

ピアハッピー栄は  
栄区福祉保健活動拠点の愛称です。

栄区内や近隣で福祉保健活動をしている団体やボランティアのみなさんの活動の場です。ボランティアをしたい人と依頼したい人をつなぐボランティアセンターもこの拠点の中にあります。

マスコットキャラクター そらちゃんのオレンジ色ののぼり旗が目印です。





# 栄区社協ボランティアセンターで 1年間にコーディネートしたボランティア活動を紹介します

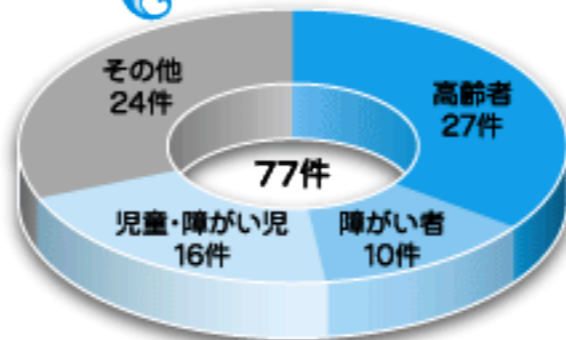
集計期間 平成20年10月1日～21年9月30日

栄区社協ボランティアセンターでは、ボランティアや福祉に関するたくさんの方の相談を受け付けています。この1年間に受け付けたボランティアに関する875件の相談の中から、77件の依頼をコーディネートしました。その結果、延べ277人のボランティアの活動につながりました。

## ボランティア登録者数は…

個人登録者	298人
ボランティア団体登録者	2,484人(117団体)
このうち、この1年間で新しく登録した人	
個人登録者	76人
ボランティア団体登録者	182人(11団体)

## 依頼したい人は…



## 「そら」から出会いが生まれました

栄区社協ボランティアセンターでは、ボランティア情報紙「そら」を2ヶ月に1回発行しています。ボランティア活動をする人、活動を依頼したい人に情報提供をするため、町内会の回覧板や、福祉関連施設の窓口での配布、登録ボランティアに郵送しています。「そら」を通じてボランティア活動につながったコーディネートの事例を紹介します。

### 1 依頼がありました

個別支援学級に通う小学2年生の、3人の子もたちとその家族が依頼者です。



子どもたちの障がいの特徴として、人に慣れることが難しく、はしゃぎすぎてしまうことがあります。友だち同士の過ごし方を学ぶために、3組の親子で月に1回程度、いざち川沿いを散歩してきました。子どもたちが大きくなっていくにつれて、家族以外の人と接することを学ぶことが大切になるため、2名くらいのボランティアさんに、お散歩の付き添いを依頼したいと思って、ボランティアセンターに相談しました。

これからボランティアを始めたいと思っている人々にも、この活動を知ってもらうために、「そら」に掲載しましょう。

### 2 「そら」に掲載しました

そら第69号 平成21年度8月号に掲載しました。読者へのメッセージとして、お母さんたちが原稿の文章を考えました。

#### お散歩ボランティア募集

障がいのある子どもたちとお散歩を一緒に楽しんでくれるボランティアを探しています。子どもたちが家族以外の人と楽しく過ごす時間を持ち、自立の一步となるお手伝いをしていませんか？ボランティアさんが慣れるまでは保護者も一緒に活動します。

### 3 応募がありました

町内会の回覧板で「そら」を読んだ、MさんとTさんから問合せがありました。



大学生になる娘が、この夏、さかえ・ほつとスクールで、障がいのある子どもたちMさん ちの余暇支援のボランティアに参加しました。その話を聞いて、私も活動してみたいと思っていました。保育の仕事をしているので、知的障がいや、自閉症のある子どもと接したことはありませんが、ボランティアは初めてです。



高齢者にお弁当を作って配達する配食ボランティアのグループで活動したり、Tさん さかえ区民活動センターで歴史について学んだりしています。小学生になる孫と一緒に遊んでいるので、体力には自信がありますし、歩くことも苦になりません。個人での活動は初めてですが、記事を読んで、私にもできるかな？と思って問合せをしました。

### 4 顔合せ

活動を始めるかどうかを決める前に、まずは3人の子もたちとお母さん、MさんとTさんがボランティアセンターのコーディネーターを交えて顔合せをしました。

お互いの自己紹介をし、お母さんが普段の活動の様子を説明しました。子どもたちはMさん・Tさんのあいさつに反応していました。子どもたちが長い時間部屋にいることに飽きてしまったり、追いかけてくるなどの普段の様子も、ボランティアに伝わりました。

顔合せを終えて、お母さんたちからは「依頼したい」、Mさん・Tさんともに「活動したい」という希望が出され、第1回目の活動を始めることに決まりました。

Mさん・Tさんは、このコーディネートきっかけにボランティア登録(個人)し、ボランティア活動保険に加入\*1しました。(\*1 本紙4面参照)

### 5 活動がはまりました



子どもたちに必要なのは近付き過ぎず、離れ過ぎない距離。お母さんのリクエストにボランティアもコツをつかんで息もびったり。

活動する私自身が楽しんでいます。活動を通じて、新しい発見もありました。



Mさん

子どもたちと過ごすことで、私の方が逆にパワーをもらっていると感じます。次回のお散歩も楽しみにしています。



Tさん

## 教えて そらちゃん!

## 栄区の ボランティア登録のこと



質問 男性と女性の登録者、どちらが多いの？

答え 男性149人、女性149人と、ちょうど同じ人数です。ボランティアは女性が多いと思われていますが、栄区の個人登録では、男性ボランティアの登録者数も、活躍ぶりでも決して女性に負けていません。

質問 個人登録者数は、何才くらいの人が多いの？

答え 年代でみると、60才台の登録者が最も多く、最年少は、13才の中学生。最年長は91才で、現役で活動しています。

質問 ボランティア登録者の数は増えているの？ 減っているの？

答え ボランティア登録者数は年々増えています。

質問 たくさんの方がボランティア登録しているようですね。それでもボランティアの数は足りないの？

答え ボランティアセンターでは、活動を希望する人たちの力や、活動したい内容を把握し、様々な依頼内容に合ったボランティアを紹介するために、登録をお勧めしています。また、栄区に住むたくさんの方々が、ボランティアや地域の活動に関心を持って参加し、お互いに支えあうことで、栄区が「誰もが住みやすい町」になることを推進しています。このように、登録者の数だけに関わらず、栄区での活動がより活発になるよう、活動をする人、依頼したい人のひとりひとりの力が発揮できるよう応援していきます。

